学校番号	1101

令和８年度　理科

教科	理科	科目	生物基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「高校生物基礎　visual」（実教出版）						
副教材等	「アクセスノート生物基礎　改訂版」（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

教科書の順番通りに内容を５分割してテスト範囲を設定しますが、生徒のニーズに応えるため、医療・看護系の内容（人体の生理学）に十分な時間を割きたいと思います。
教科書はもちろん、副教材もできるだけ活用するので、毎時間持参してください。
実験はテスト範囲ごとに１回の年間５回を予定しています。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
生物的な事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	自然の生物的な事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。	自然の生物的な事物・現象から問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	自然の生物的な事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	生物の特徴	生物の多様性と共通性 細胞とエネルギー	a:身近な動植物の細胞や組織をもちいた実験・観察を通して基本操作を習得できる。細胞が外界からエネルギーを得て生命活動を営むしくみについて関心をもち、科学的な見方ができる。 b:実験の過程や結果を的確に記録・整理できる。 c:細胞の構造やしくみに関心を持ち、意欲的に取り組む姿勢を持つ。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート
	遺伝子とその働き	DNA 遺伝情報と 遺伝情報の分配 遺伝情報とタンパク質の合成	a:ＤＮＡの遺伝情報をもとに最重要物質であるタンパク質が合成される道筋を理解し、必要な知識を身につけている。 b:遺伝情報がＤＮＡという化学物質に起因し、細胞分裂を通して次世代へと連続していくしくみについて考察し、的確に表現できる。 c:遺伝現象についての科学的な見方や考え方の習得に前向きに取り組んでいる。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート

後期	生物の体内環境とその維持	体内環境とその維持のしくみ 免疫	a:人体をテーマにした授業を通して心臓、血液、肝臓、腎臓、自律神経、ホルモンについて関心をもち、科学的な見方や考え方を身につけている。近年注目を浴びている免疫現象について理解し、知識を身につけている。 b:体内環境とその維持のしくみ・免疫について考察し、的確に表現できる。 c:人体の構造やしくみに関心を持ち、主体的・意欲的に取り組む姿勢を持つ。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート
	生物の多様性と生態系	植生と遷移 気候とバイオーム 生態系と物質循環 生態系のバランスと保全	a:植生と遷移、気候とバイオーム、生態系についての正しい認識を持ち、理解している。 （実験・観察については、この単元では実施しにくいので、教科書の内容にとらわれずに題材を選び実施する） b:植生と遷移、気候とバイオーム、生態系について考察し、的確に表現できる。 c:生態系のしくみに関心を持ち、主体的・意欲的に取り組む姿勢を持つ。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度